

2021年5月13日

薬学部 4, 5, 6 年生・薬学研究科大学院生の皆さんへ

東北大学薬学部長・薬学研究科長 岩渕 好治

仙台市へのまん延防止等重点措置が解除されたこと等を踏まえ、5月12日から東北大学行動指針レベルが2になりました。これまでの感染例等をみると、学内での構成員間による感染は極めて少なく、キャンパス外での行動、特に複数名での長時間にわたる飲食やカラオケなどを起因とする例が多いことが明らかとなっています。すなわち、感染リスクがすぐ身近に迫っていることを強く意識する必要があります。このことから引き続き、密閉、密集、密接の回避、会話時のマスク着用、こまめな手指消毒など、一人一人の基本的な感染対策と同時に、自覚と責任ある行動の徹底を切にお願い致します。

現在いまだ感染例が認められている事態であることを踏まえると、皆様ご自身の感染を防ぐとともに、感染拡大防止にご協力頂きたく以下のお願いをさせていただきます。

1. これまでと同様に健康管理に留意するとともに、「新しい生活様式」を実践し、感染予防に努めてください。集団飲食（ライブハウス、カラオケボックス、アパート等における会食等）は自粛してください。接客等の不特定多数の人と接するアルバイトも大きな感染リスクと考えられます。
2. 学部、大学院の授業は定期試験や実習等を除き、原則オンラインとなります。インターネットの環境にもし不都合がありましたら下記の対策本部へメールでお問合せください。
3. 教務関係の連絡もメール等で通知されますが、薬学部・薬学研究科のHPの案内は毎日ご確認ください。また指導教員と密に連絡を取るようになしてください。
4. 研究室の活動は薬学研究科の感染防止管理体制および各研究室の行動指針に従ってください。入構に際しては健康状態（体温、体調など）、行動履歴、感染者あるいは感染が懸念される人との接触に関する確認が必要となります。

5. 入構に際しては必ず指導教員の指示に従ってください。また入構中の行動履歴は記録シートに毎日記録していただくことになります。

6. 感染の懸念があり PCR 検査を受けることとなった場合には速やかに指導教員へ連絡してください。検査結果が出るまでの待機中に検査前 14 日間の行動履歴について整理し指導教員へ詳細な報告をお願いいたします。

7. 感染防止に細心の注意を払ってください。入構中は以下のことを守りながら作業を行ってください。

- ・マスクは必ず着用し、手洗い、手指の消毒を徹底する。
- ・可能なかぎり入構時間が短くなるように自宅でできることは自宅で行う。
- ・活動範囲は原則所属研究室内および関連施設とし、他研究室への立ち入りは避ける。
- ・研究室内外での連絡、打ち合わせ等は電話、電子メール、WEB 等を使用する。
- ・換気のできない密閉した空間での複数人での作業は避ける。
- ・公共交通機関（電車、バス等）を利用する場合は混雑する時間を避ける。
- ・公共交通機関（電車、バス等）を利用中はマスクを必ず着用する。
- ・夜間に学生一人のみでの実験は絶対に行わない。
- ・事務との連絡は電話、メールを使い、事務への提出物は教員に依頼する。

8. 薬学部・薬学研究科では新型コロナウイルス感染症対策本部を設置しておりますので、新型コロナウイルス感染症に関することで困っていることや不安なことがありましたら以下のアドレスへご連絡、お問合せいただければと思います。

薬学研究科新型コロナウイルス対策本部 [emg@mail.pharm.tohoku.ac.jp](mailto:emg@mail.pharm.tohoku.ac.jp)

今後も皆様が安心して学業に取り組めるように対策を練り、またご不安を取り除くためにこれからも情報発信にも努めてまいりますのでご協力をお願いいたします。